

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

# アジア経済概況（2007年10月）

## 【目次】

### ・中華圏・韓国

- 1 .中国経済の概況・・・輸出と投資の堅調を背景に景気の拡大が続く ... p.1
- 2 .中国の主要指標解説：人民元の全面高を強く望むG7声明 ... p.3
- 3 .台湾経済の概況・・・輸出の堅調を背景に緩やかな景気回復続く ... p.4
- 4 .韓国経済の概況・・・堅調な輸出と底堅い内需により景気拡大続く ... p.5

### ・ASEAN・インド

- 1 .タイ経済の概況・・・堅調な輸出と内需持ち直しで景気回復傾向 ... p.6
- 2 .インドネシア経済の概況・・・内需持ち直しから緩やかに景気回復 ... p.7
- 3 .マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標 ... p.8
- 4 .ベトナム経済の概況・・・1-9月期のGDP成長率は8.2%に加速 ... p.9
- 5 .インド経済の概況・・・内外需の堅調を背景に景気の拡大が続く ... p.10

### ・アジア通貨・株価動向 ... p.11



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

## 調査部

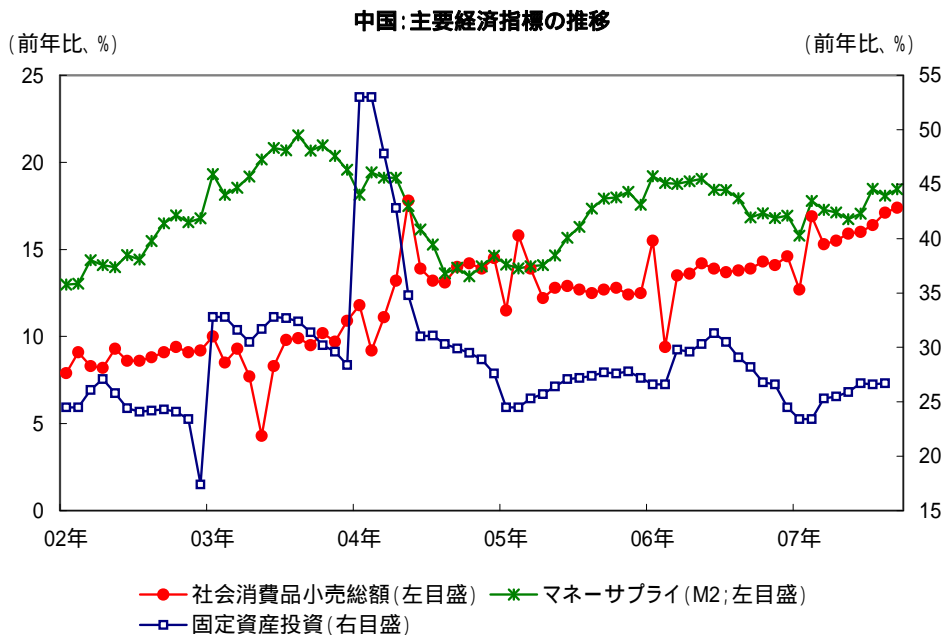
【お問い合わせ先】海外経済班

野田 (mariko.noda@murc.jp)

・ 中華圏・韓国

1 . 中国経済の概況

- ・ 輸出と投資の堅調を背景に景気の拡大が続いている。10月25日発表予定の7-9月期の実質GDP成長率は引続き11%台の高成長となったと見られる。また1-9月期の固定資産投資も1-6月期(前年同期比26.7%増)並みのテンポで推移していると見られる。
- ・ 9月の輸出は前年同月比22.8%増と前月(同22.7%増)並みの堅調な拡大が続いている。EU(前年同月比32.2%増)、米国(同9.5%増)、ASEAN(同28.0%増)向けに加えてロシア(同102.8%増)やインド(同78.6%増)向けの輸出も好調であった。一方、輸入は同16.0%増と前月(同20.0%増)より伸び率が鈍化。このため9月の貿易黒字も239億ドルと5月以降5カ月連続で200億ドルを超える黒字が続いている。大幅な貿易黒字を背景に強まる元高圧力を介入によって緩和していることから9月末時点の外貨準備高は1兆4336億ドルにまで増加した。
- ・ 9月の消費者物価上昇率は豚肉など食品価格の騰勢がやや緩和されたことから前年同月比6.2%と前月(同6.5%)から若干低下した。しかし、マネーサプライは9月同18.5%増と再び加速しており、インフレ圧力は依然として強いと見られる。
- ・ 中国人民銀行(中銀)は10月13日に今年8回目となる預金準備率の引き上げ(12.5%→13.0%;実施は10月25日)を決めたが、今後も追加の引締め政策が実施されると見られている。



(注) 固定資産投資は年初からの累計の前年比、各年1月と2月は1~2月の前年同期比(同値)をプロット、04年以降は都市部・投資額50万元以上のみ。 (出所)CEIC

**【中国・香港の主要経済指標】**

			2004年	2005年	2006年	06/4Q	07/1Q	07/2Q	07/3Q	07/6月	07/7月	07/8月	07/9月	
中国	GDP	実質GDP成長率 (累計ベース)	前年比%				10.4	11.1	11.9					
		名目GDP成長率 (累計ベース)	前年比%	10.1	10.4	11.1	11.1	11.1	11.5					
	消費	社会消費品小売総額	前年比%	13.3	12.9	13.7	14.3	15.0	15.8	p 17.0	16.0	16.4	17.1	p 17.4
		うち市	前年比%	20.6	20.6	14.3	14.8	15.5	16.3		16.4	16.7	17.6	
		うち県	前年比%	18.6	15.2	13.3	14.1	14.8	16.4		16.8	17.5	17.6	
		うち県以下	前年比%	12.8	16.3	12.3	13.2	13.1	14.1		14.2	15.0	15.4	
		自動車販売台数	前年比%	16.9	13.8	24.8	24.7	22.3	25.1	27.9	30.4	37.2	27.2	21.7
		うち乗用車	前年比%	19.3	21.5	36.7	28.9	31.1	22.7	27.1	27.9	34.5	25.2	23.2
		消費者自信指数	期中平均	92.9	94.2	94.7	96.2	95.8	96.8	97.0	97.5	96.7	97.3	97.0
	消費者期待指数	期中平均	91.7	95.1	97.2	98.9	98.4	99.3	99.6	100.0	99.2	99.9	99.7	
	投資	固定資産投資 (都市部・50万円以上; 累計ベース)	前年比%	27.6	27.2	24.5	24.5	25.3	26.7		26.7	26.6	26.7	
		うち不動産・居住用建物	前年比%	25.3	19.6	26.8	26.8	29.7	29.8		29.8	29.6	29.8	
		うち国内企業	前年比%	26.1	28.5	25.0	25.0	25.3	27.1		27.1	26.7	27.0	
		うち製造業	前年比%	36.3	38.6	29.4	29.4	31.7	34.7		34.7	35.1	35.7	
		うち鉄鋼	前年比%	26.9	27.5	2.5	2.5	13.5	9.6		9.6	9.2	12.9	
		うち輸送機械	前年比%	43.2	51.1	25.2	25.2	31.4	30.6		30.6	33.4	35.4	
		うち電気機械	前年比%	64.2	44.9	45.6	45.6	38.9	44.2		44.2	44.8	44.7	
		うち情報通信機器	前年比%	32.7	18.2	38.7	38.7	30.4	32.3		32.3	30.6	27.6	
直接投資契約件数 (累計ベース)		前年比%	6.3	0.8	5.8	5.8	4.4	5.4	6.0	5.4	4.8	5.3	6.0	
直接投資実行額 (累計ベース)		前年比%	13.3	19.4	4.1	4.1	11.6	12.2	10.9	12.2	12.9	12.8	10.9	
不動産景気指数	期中平均	105.8	101.9	102.5	103.4	101.8	103.2		103.6	104.0	104.5			
貿易 及び 外貨 準備	貿易収支	10億ドル	32.8	102.1	177.5	67.8	46.5	66.2	73.2	26.9	24.4	25.0	23.9	
	輸出 (ドルベース)	前年比%	35.4	28.4	27.2	28.9	27.9	27.4	26.2	27.0	34.1	22.7	22.8	
	輸入 (ドルベース)	前年比%	35.8	17.7	19.9	15.5	18.2	18.2	20.7	14.3	26.9	20.0	16.0	
	対米貿易収支	10億ドル	80.3	114.2	144.3	42.1	34.7	39.2	44.7	14.1	14.4	15.0	15.3	
	対日貿易収支	10億ドル	20.7	16.4	24.0	6.4	6.4	7.7	9.9	3.2	2.9	3.3	3.7	
	外貨準備	期末10億ドル	609.9	818.9	1066.3	1066.3	1202.0	1332.6	1433.6	1332.6	1385.2	1408.6	1433.6	
生産	鉱工業付加価値額	前年比%	16.3	15.9	16.2	14.8	15.1	18.3		19.4	18.0	17.5		
	うち国有企業	前年比%	13.7	10.7	12.1	14.0	11.9	13.2		13.3	12.5	13.6		
	うち株式会社	前年比%	16.6	17.3	17.4	16.3	16.4	20.1		21.3	19.7	19.6		
	うち外商・港台企業	前年比%	18.5	15.8	16.7	14.2	14.3	16.9		18.3	17.4	15.9		
	在庫額	前年比%	20.2	21.0	18.5	18.8	n.a.	n.a.		n.a.	n.a.	21.1		
	うち鉱物	前年比%	20.8	42.4	37.6	29.2	n.a.	n.a.		n.a.	n.a.	25.7		
	うち素材	前年比%	25.4	27.1	19.6	19.3	n.a.	n.a.		n.a.	n.a.	20.8		
	うち機械	前年比%	19.5	16.7	15.6	17.5	n.a.	n.a.		n.a.	n.a.	22.9		
	発電量	前年比%	15.0	13.4	14.7	15.3	12.4	17.7		18.0	15.8	16.3		
	都市一人当たり所得 (累計ベース)	前年比%	11.8	11.8	12.4	12.4	22.8	20.4						
所得 雇用	鉱工業雇用者数	前年比%	7.2	8.8	8.3	6.9	n.a.	n.a.		n.a.	n.a.	5.7		
	労働力市場求人倍率	期末	0.94	0.96	0.96	0.96	0.98	0.98						
	第二次産業/全産業求人比率	期末%	31.9	30.8	33.0	31.3	34.7	37.3						
物価	消費者物価指数	前年比%	3.9	1.8	1.5	2.0	2.7	3.6	6.1	4.4	5.6	6.5	6.2	
	うち食品	前年比%	10.0	2.9	2.3	4.1	6.2	8.9		11.3	15.4	18.2		
	うち家庭設備・家庭用品	前年比%	1.4	0.1	1.2	1.8	2.1	2.1		1.8	1.7	1.7		
生産者物価指数	前年比%	6.1	4.9	3.0	2.9	2.8	2.7		2.5	2.4	2.6			
金融	マネーサプライ (M2)	前年比%	14.6	17.6	16.9	16.9	17.3	17.1	18.5	17.1	18.5	18.1	18.5	
	インターバンク金利 (翌日物)	期中平均%	2.10	1.43	1.86	2.25	1.88	2.10	2.29	2.06	2.12	1.91	2.84	
	株価指数 (上海総合)	期末	1,267	1,161	2,675	2,675	3,184	3,821	5,552	3,821	4,471	5,219	5,552	
	為替レート (元/ドル)	期中平均	8.28	8.19	7.97	7.86	7.76	7.68	7.56	7.63	7.58	7.57	7.52	
	為替レート (円/元)	期中平均	13.1	13.4	14.6	15.0	15.4	15.7	15.6	16.1	16.0	15.4	15.3	
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	8.6	7.5	6.9	7.3	5.7	6.9					
		うち民間消費	前年比%	7.2	3.3	5.2	5.4	5.3	6.6					
		うち固定資本形成	前年比%	3.1	4.6	7.9	9.4	4.7	11.1					
	名目GDP成長率	前年比%	4.6	7.1	6.6	7.8	6.8	8.7						
	消費	小売販売数量指数	前年比%	8.1	6.1	5.6	6.3	7.4	8.0		13.1	12.0	12.4	
		不動産価格指数	前年比%	26.7	18.0	0.7	3.5	5.5	7.4		9.6	11.1	10.6	
		うち家屋160㎡超 (香港島)	前年比%	44.9	21.5	5.4	1.3	0.0	18.4		9.9	4.3	20.1	
	不動産販売取引件数 (香港域内)	前年比%	40.6	2.7	20.2	7.3	31.6	38.9		35.0	70.2	63.3		
	貿易	貿易収支	10億HKドル	93.7	81.4	138.8	32.8	40.3	54.3		19.4	8.2	13.7	
		輸出 (香港ドルベース)	前年比%	15.8	11.4	9.3	11.8	9.0	11.9		11.1	8.6	7.5	
輸入 (香港ドルベース)		前年比%	16.8	10.3	11.5	14.0	9.0	12.9		13.0	9.8	9.0		
物価	消費者物価指数	前年比%	0.4	0.9	2.0	2.1	1.7	1.3	1.6	1.4	1.6	1.7	1.7	
	マネーサプライ (M3)	期末%	8.6	5.2	15.5	15.5	16.5	20.5		20.5	17.2	16.9		
金融	ハンセン指数	期末%	14,230	14,876	19,965	19,965	19,801	21,773	27,142	21,773	23,185	23,984	27,142	

(出所) CEIC 他 (注) 直投実行額は05年から金融分野への投資も含むベース。不動産景気指数は05年より基準が改訂され、それ以前とは不連続。

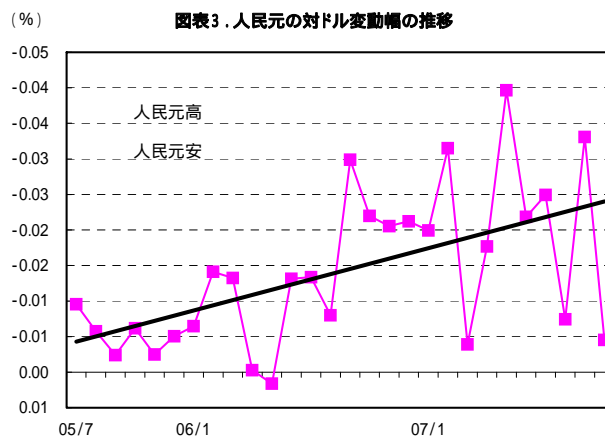
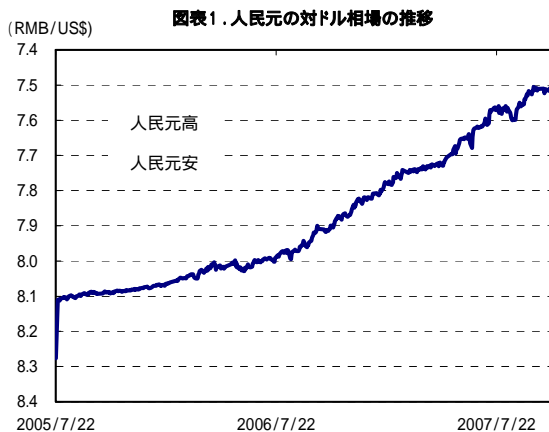
## 2. 中国の主要指標解説：人民元の全面高を強く望む G 7 声明

10月19日に開催されたG7（先進7カ国財務相・中央銀行総裁会議）は「中国の人民元は実効レートの切上げ加速が必要」（時事webニュース）との項目を盛り込んだ声明を発表して閉幕した。

実際、人民元の実効レートは徐々に上昇しているものの（図表1）、ドル安ユーロ高の進展を反映し、対ユーロ相場は逆に下落傾向が続いている（図表2）。こうした中で人民元を実効ベースで切上げるためには再度、大幅な人民元の切上げを行わなくてはならないだろう。

また「切上げの加速」の必要性が指摘されているが図表3が示すように少なくとも対ドルでは人民元は徐々に上昇テンポを加速させている。

中国を名指ししたG7声明に対して中国政府がどんな対応を示すかが注目されるどころだが、当面、中国の自主性に基づく中国のテンポでの「切上げ加速」が続くのではないだろうか。

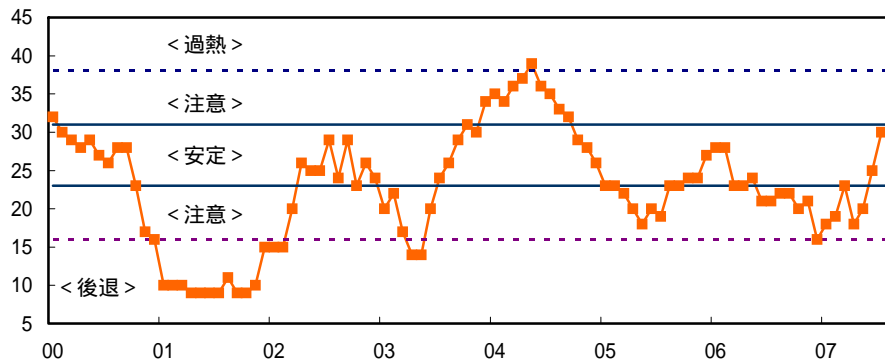


(注) 図表データは日次の変動幅の月中平均値。05年7月は7月25日以降月末までまた07年10月は月初から10月19日までの日次変動幅の平均値。マイナスは元高を意味する。

### 3. 台湾経済の概況

- ・ 輸出の堅調を背景に緩やかな景気回復が続いている。9月の輸出は中国など近隣アジア諸国向け、並びに欧州向けを中心に前年同月比 10.6%増と堅調な拡大が続いている。一方、クレジットカード債務問題から低迷していた消費も雇用環境の改善持続や資産価格の上昇などを背景に持ち直しの兆しが見える。こうした状況を反映し、行政院経済建設委員会が発表する景気対策信号は6月以降3カ月連続して「安定」圏内となった。
- ・ 9月の消費者物価上昇率は台風の影響による野菜価格の高騰などを背景に前年同月比 3.1%と2005年9月（同 3.2%）以来の高い上昇率となった。台湾中銀は9月20日、インフレ抑制のため公定歩合を0.125%ポイント引き上げ3.25%としたが、インフレ圧力は根強く12月再利上げの可能性もあると見られている。

(ポイント) 台湾: 景気対策信号の推移



(出所) 台湾行政院経済建設委員会

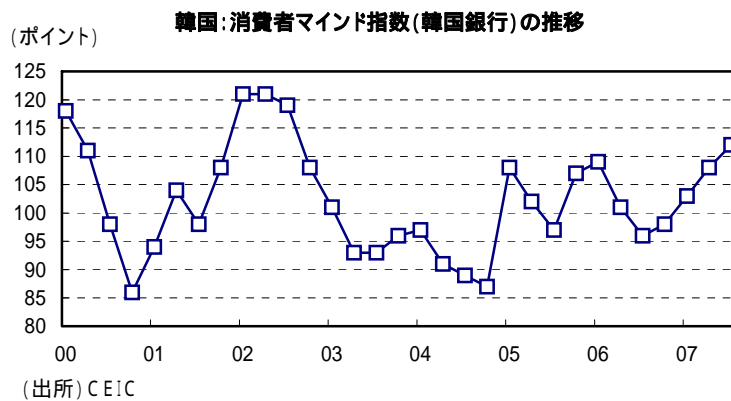
### 台湾の主要経済指標

		2004年	2005年	2006年	06/4Q	07/1Q	2Q	3Q	07/6月	07/7月	07/8月	07/9月
GDP (yoy)	実質GDP	6.2	4.1	4.7	4.0	4.2	5.1					
	うち民間消費	4.5	2.8	1.4	2.3	2.1	2.6					
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	19.5	0.2	1.0	6.2	2.4	9.2					
生産	鉱工業生産 (yoy)	9.8	4.6	5.0	0.7	1.0	5.7		7.2	13.3	10.2	
貿易及び 対外 関連	貿易収支 (10億ドル)	13.6	15.8	21.3	7.7	6.3	4.3	6.9	1.4	0.5	3.3	3.2
	輸出 (yoy)	21.1	8.8	12.9	7.6	8.5	6.6	9.8	11.0	8.2	10.5	10.6
	輸出受注 (yoy)	26.5	19.2	16.7	9.6	12.7	12.8		15.2	23.5	16.3	
	輸入 (yoy)	31.8	8.2	11.0	9.9	3.1	7.2	8.9	10.7	16.7	0.3	10.5
	経常収支 (10億ドル)	18.5	16.0	24.7	8.4	8.7	5.0					
	外貨準備高 (10億ドル)	242	253	266	266	267	266	263	266	266	261	263
雇用	失業率 (季調値)	4.4	4.1	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9
物価	消費者物価 (yoy)	1.6	2.3	0.6	0.1	1.0	0.3	1.4	0.1	0.3	1.6	3.1
金融	M2 (M2, yoy)	7.4	6.6	5.3	5.3	5.8	4.6		4.6	4.6	4.1	
	株価指数 (加権指数)	6,140	6,548	7,824	7,824	7,884	8,883	9,477	8,883	9,287	8,982	9,477
	短期金利 (オバーナイト)	1.04	1.30	1.56	1.66	1.69	2.12	2.01	2.50	2.01	2.01	2.02
	為替レート (NTドル/ドル)	33.4	32.2	32.5	32.9	32.9	33.1	32.9	32.9	32.8	33.0	33.0
	為替レート (円/NTドル)	3.24	3.42	3.58	3.58	3.63	3.65	3.58	3.73	3.70	3.54	3.49

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

#### 4. 韓国経済の概況

- ・ 堅調な輸出と底堅く推移する内需を背景に緩やかな景気拡大が続いている。9月の輸出は前年同月比0.9%減となったが、これは秋夕（旧盆）連休のため昨年より営業日数が4日少なかったため、9月の1日平均の輸出額は船舶、鉄鋼、一般機械などを中心に同19.4%増と好調であった。輸出の堅調を背景に生産も好調が続いている。8月の鉱工業生産は同11.2%増と前月に続き二桁増となった。
- ・ 一方、雇用の改善傾向など背景に消費者マインドの改善が続いており、消費にも持ち直し傾向が見える。8月の小売売上は前年同月比4.6%増であった。
- ・ 9月の消費者物価上昇率は前年同月比2.3%と前月（同2.0%）からやや加速した。ただし、これは台風の影響による農産品価格の高騰が主因の一時的なものとみられている。こうした中で韓国中銀は10月11日、国際金融市場の不安定化もあり、9月に引続き政策金利（無担保翌日物コール金利）を5.0%に据え置いた。



#### 韓国の主要経済指標

		2004年	2005年	2006年	06/4Q	07/1Q	2Q	3Q	07/6月	07/7月	07/8月	07/9月
GDP (yoy)	実質GDP	4.7	4.2	5.0	4.0	4.0	5.0					
	うち民間消費支出	0.3	3.6	4.2	3.7	4.1	4.2					
	うち固定資本形成	2.1	2.4	3.2	4.5	7.0	6.7					
	うち設備	3.8	5.7	7.6	5.3	10.8	11.9					
生産	鉱工業生産(yoy)	10.2	6.2	10.1	5.2	3.4	7.0		7.6	14.3	11.2	
消費	小売売上高(数量,yoy)	0.2	4.3	4.9	4.2	4.4	3.0		3.5	4.3	4.6	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	29.4	23.2	16.1	7.5	2.4	5.2	4.8	3.5	1.0	1.4	2.4
	輸出(yoy)	31.0	12.0	14.4	13.8	14.7	14.1	9.6	14.5	17.2	13.7	0.9
	輸入(yoy)	25.5	16.4	18.4	13.0	13.4	14.4	7.0	9.4	14.3	9.6	2.2
	経常収支(10億ドル)	28.2	15.0	6.1	6.1	1.7	0.0		1.3	1.6	0.6	
	外貨準備高(10億ドル)	199	210	239	239	244	251	257	251	255	255	257
雇用	失業率(季調値)	3.5	3.5	3.3	3.1	3.4	3.0	2.9	2.9	3.0	2.9	2.8
物価	消費者物価(yoy)	3.6	2.8	2.2	2.1	2.0	2.4	2.3	2.5	2.5	2.0	2.3
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	5.9	7.0	11.4	11.4	11.5	10.9		10.9	10.9	11.4	
	株価指数(総合)	896	1,379	1,434	1,434	1,453	1,744	1,946	1,744	1,933	1,873	1,946
	為替レート(ウォン/ドル)	1,140	1,023	953	935	940	929	928	927	923	940	921
	為替レート(円/100ウォン)	9.5	10.8	12.2	12.6	12.7	13.1	12.6	13.3	12.9	12.4	12.6
	CDレート(3ヵ月物)	3.79	3.65	4.48	4.64	4.94	5.01	5.20	5.03	5.05	5.21	5.34

(出所)CEIC

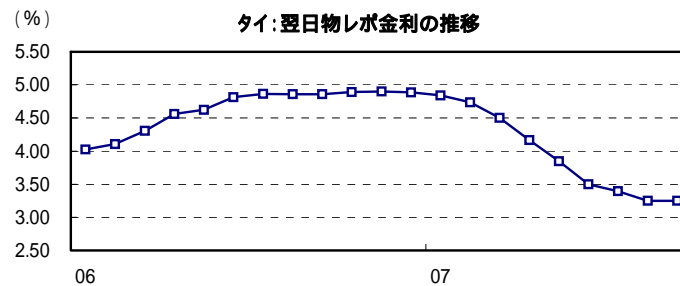
(注)yoy=前年比(%)



・ A S E A N ・ イ ン ド

1 . タイ経済の概況

- ・ 堅調な輸出と内需の持ち直しを背景に景気は緩やかな回復傾向にある。9月の輸出は自動車や電子製品を中心に前年同月比 10.4%増と堅調に拡大した。一方、輸入は原油の輸入が減少したことから同 7.4%増と前年比一桁台に減速した。この結果、9月の貿易黒字は 20 億ドルに拡大した。輸出の好調を背景に8月の製造業生産も同 9.8%増と好調であった。また雇用の改善傾向が続く中で総合消費指数も同 1.4%増と堅調だった。
- ・ 9月の消費者物価上昇率は食品価格の上昇から前年同月比 2.1%に加速した。タイ中銀は景気テコ入れのため年初来 5 回連続利下げを実施してきたが、景気の持ち直し傾向とインフレ懸念から 8月に引続き 10月 10日も政策金利の据え置き (3.25%) を決めた。



(注)タイ中銀は07年1月に政策金利を14日物レボ金利から翌日物レボ金利に変更。  
(出所)CEIC

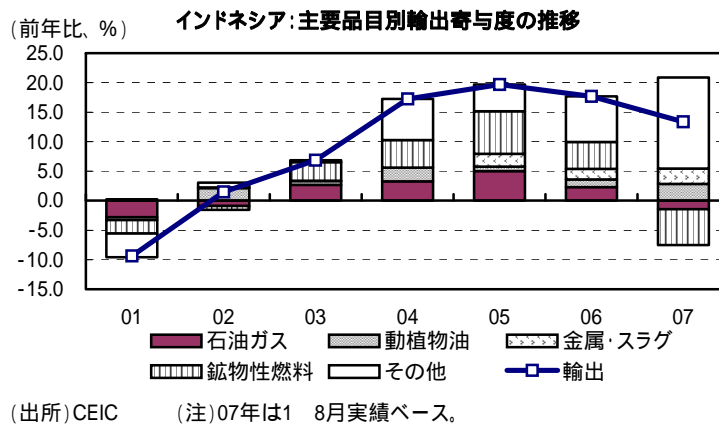
**タイの主要経済指標**

		2004年	2005年	2006年	06/4Q	07/1Q	2Q	3Q	07/6月	07/7月	07/8月	07/9月
GDP (yoy)	実質 GDP	6.3	4.5	5.0	4.3	4.2	4.4					
	民間消費	6.2	4.3	3.1	2.5	1.3	0.9					
	総固定資本形成	13.2	11.1	4.0	2.4	1.5	0.2					
生産	製造業生産指数(yoy)	11.7	9.0	7.4	6.8	6.1	5.6		3.9	7.6	9.8	
消費	総合消費指数(yoy)	3.9	0.9	1.7	1.5	0.5	0.0		0.8	0.1	1.4	
投資	民間企業投資指数(yoy)	16.3	10.1	2.5	1.5	0.9	3.0		2.7	3.1	2.8	
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	2.5	7.2	0.9	1.6	3.7	1.8	2.9	0.9	0.2	0.8	2.0
	輸出(yoy)	20.6	14.9	16.9	19.5	18.2	19.1	11.6	17.7	6.3	17.9	10.4
	輸入(yoy)	25.3	25.7	9.0	12.7	3.7	7.3	8.0	5.1	2.4	14.0	7.4
国際収支	経常収支 (10億ドル)	2.8	7.9	2.2	2.6	5.0	1.4		1.2	0.4	0.7	
	外貨準備高 (10億ドル)	49.8	52.1	67.0	67.0	70.9	73.0	80.7	73.0	74.0	74.4	80.7
雇用	失業率 (季調前)	2.1	1.9	1.5	1.3	1.6	1.6		1.4	1.2	1.2	
物価	消費者物価 (総合,yoy)	2.8	4.5	4.6	3.3	2.5	1.9	1.6	1.9	1.7	1.1	2.1
	消費者物価 (コア,yoy)	0.4	1.6	2.3	1.7	1.4	0.9	0.7	0.7	0.8	0.7	0.8
金融	マネーサプライ (broad M,yoy)	5.7	6.3	6.2	6.2	4.9	3.5		3.5	4.0	3.0	
	商銀貸出残高(yoy)	12.6	8.4	5.6	5.6	2.9	3.1		3.1	3.7	5.5	
	不良債権比率(3M基準,%)	10.7	8.2	7.5	7.5	7.5	7.8					
	株価指数 (SET)	668	714	680	680	674	777	846	777	860	813	846
	為替レート (円/ドル)	40.2	40.2	37.9	36.5	35.5	34.6	34.0	34.5	33.7	34.1	34.2
	為替レート (円/バーツ)	2.7	2.7	3.1	3.2	3.4	3.5	3.5	3.6	3.6	3.4	3.4
インターバンク金利 (3M)	1.62	3.28	5.20	5.25	4.74	3.88	3.55	3.75	3.55	3.55	3.55	

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)

## 2. インドネシア経済の概況

- ・ 内需の持ち直しから緩やかな景気回復が続いている。国内の投資動向を反映するセメント消費量は7-9月前年同期比6.1%増加した。また8月の小売売上は同8.5%増と堅調に推移している。一方、これまでの景気回復の牽引役であった輸出は8月同7.8%増と一桁台の伸びに減速した。これは主要輸出品である鉱物性燃料（主に石炭）や動植物油（主にパーム油）の輸出が、国内供給確保のための輸出税の導入ないし引上げの影響などにより減少したことが主因である。インドネシア政府は石油燃料への依存を減らすために石炭火力発電の能力拡大を進めている。また国内の食用油の価格抑制のために今年6月にパーム油の輸出税率を引上げており、輸出の先行きが不安視される。
- ・ 9月の消費者物価上昇率が食料品価格の高騰から前年同月比6.95%と加速したため、中銀は10月8日の総会で政策金利の据置き（8.25%）を決めた。



### インドネシアの主要経済指標

		2004年	2005年	2006年	06/4Q	07/1Q	2Q	3Q	07/6月	07/7月	07/8月	07/9月
GDP (yoy)	実質GDP	5.0	5.7	5.5	6.1	6.0	6.3					
	民間消費支出	5.0	4.0	3.2	3.8	4.7	4.7					
	総固定資本形成	14.7	10.8	2.9	8.2	7.7	6.9					
生産	製造業生産(yoy)	3.3	1.3	1.6	4.6	7.2	7.2					
消費	小売売上(yoy)	7.3	15.9	4.0	16.2	11.8	9.7		10.8	9.3	8.5	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	25.1	28.0	39.7	11.9	10.0	10.2		3.5	3.6	2.8	
	輸出(yoy)	17.2	19.7	17.7	18.7	13.9	15.6		13.0	11.3	7.8	
	(除く石油ガス,yoy)	18.0	18.8	19.8	24.3	21.5	20.4		15.9	18.2	9.8	
	輸入(yoy)	42.9	24.0	5.8	11.0	17.0	16.1		5.1	15.4	20.1	
国際収支	経常収支(10億ドル)	1.6	0.3	9.9	1.9	3.0	2.6					
	外貨準備高(10億ドル)	36.3	34.7	42.6	42.6	47.2	50.9	52.9	50.9	51.9	51.4	52.9
物価	消費者物価(yoy)	6.1	10.5	13.1	6.1	6.4	6.0	6.5	5.8	6.1	6.5	7.0
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	8.1	16.4	14.9	14.9	15.1	15.8		15.8	18.0	17.1	
	株価指数(総合)	1,000	1,163	1,806	1,806	1,831	2,139	2,359	2,139	2,349	2,194	2,359
	為替レート(ルピア/ドル)	8,985	9,751	9,141	9,098	9,123	8,988	9,244	9,054	9,186	9,410	9,137
	為替レート(円/100ルピア)	1.20	1.13	1.27	1.29	1.31	1.34	1.27	1.36	1.32	1.24	1.26
	中銀債金利(3ヵ月)	7.39	9.16	11.74	10.12	8.57	7.92	7.83	7.83	7.83	7.83	7.83

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、04年5月以降、国際収支の集計方法が一部変更され、それ以前とは不連続。



### 3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

**【マレーシアの主要経済指標】**

		2004年	2005年	2006年	06/4Q	07/1Q	2Q	3Q	07/6月	07/7月	07/8月	07/9月
GDP (yoy)	実質GDP	6.8	5.0	5.9	5.7	5.5	5.7					
	民間消費	9.8	8.7	7.1	7.0	8.6	13.1					
	総固定資本形成	3.6	5.0	7.9	9.8	9.9	6.6					
生産	鉱工業生産(yoy)	11.3	4.0	4.9	4.4	0.2	2.0		1.6	2.1	0.9	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	21.5	26.4	29.5	8.3	6.0	6.6		2.5	2.3	2.6	
	輸出(yoy)	21.0	11.3	14.0	11.1	7.6	7.8		6.3	6.5	5.8	
	輸入(yoy)	26.3	9.0	14.4	11.3	12.4	8.2		4.8	9.3	8.6	
国際収支	経常収支(10億ドル)	15.1	20.0	25.5	27.9	20.1	23.7					
	外貨準備高(10億ドル)	67	70	83	83	99	119		119	119	111	
雇用	失業率(%)	3.6	3.6	3.3	3.0	3.4	3.4					
物価	消費者物価(yoy)	1.4	3.0	3.6	3.0	2.6	1.5		1.4	1.6	1.9	
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	25.2	15.6	17.1	17.1	17.3	13.0		13.0	13.3	11.7	
	貸出残高(yoy)	26.0	17.5	11.1	11.1	6.5	6.1		6.1	8.3	8.7	
	不良債権比率(3M基準,%)	7.5	5.8	4.8	4.8	4.4	4.1		4.1	3.8	3.6	
	株価指数(総合)	907	900	1,096	1,096	1,247	1,354	1,336	1,354	1,374	1,274	1,336
	為替レート(リキ/ドル)	3.80	3.79	3.67	3.63	3.50	3.43	3.47	3.45	3.44	3.48	3.47
	為替レート(円/リキ)	28.5	29.1	31.7	32.5	34.1	35.2	34.0	35.6	35.3	33.5	33.1
	インターバンク金利(3M,%)	2.93	2.90	3.70	3.73	3.67	3.60	3.61	3.60	3.60	3.61	3.61

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、鉱工業生産は05年以降、2000年 = 100基準。消費者物価は06年以降、2005年 = 100基準。

**【フィリピンの主要経済指標】**

		2004年	2005年	2006年	06/4Q	07/1Q	2Q	3Q	07/6月	07/7月	07/8月	07/9月
GDP (yoy)	実質GDP	6.4	4.9	5.4	5.5	7.1	7.5					
	民間消費支出	5.9	4.8	5.5	5.8	5.9	6.0					
	固定資本形成	1.3	6.6	1.4	2.2	8.5	10.0					
生産	鉱工業生産(yoy)	1.0	2.2	9.9	14.2	7.2	5.1		4.4	0.6		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	4.4	6.2	4.4	1.4	0.2	1.0		0.6	0.9		
	輸出(yoy)	9.5	4.0	14.9	7.5	9.2	4.2		1.5	4.3	4.8	
	輸入(yoy)	8.8	7.7	9.2	8.3	5.5	0.4		3.8	14.3		
国際収支	経常収支(10億ドル)	1.6	2.0	5.9	2.1	2.0	1.8		0.5			
	外貨準備高(10億ドル)	14.6	17.7	23.0	23.0	24.7	26.4	30.9	26.4	28.0	30.5	30.9
物価	消費者物価(yoy)	6.0	7.7	6.3	4.8	2.9	2.4	2.5	2.3	2.6	2.4	2.7
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	10.0	9.8	22.1	22.1	24.2	19.4		19.4	19.0	14.9	
	株価指数(総合)	1,823	2,096	2,983	2,983	3,204	3,661	3,573	3,661	3,501	3,365	3,573
	為替レート(ペソ/ドル)	56.2	55.0	51.3	49.6	48.5	46.7	45.8	46.3	45.6	46.7	45.1
	為替レート(円/ペソ)	1.93	2.00	2.27	2.38	2.46	2.59	2.57	2.65	2.66	2.50	2.55
	TB(3ヵ月,%)	7.32	6.10	5.29	5.15	3.13	2.98	3.68	n.a.	3.55	3.72	3.76

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

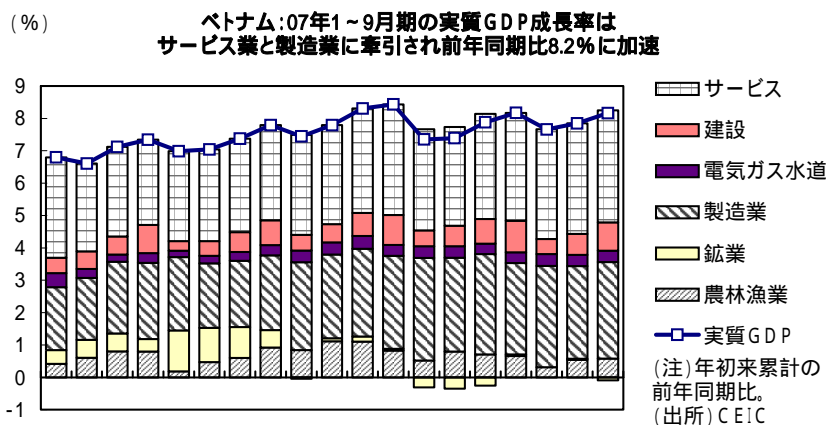
**【シンガポールの主要経済指標】**

		2004年	2005年	2006年	06/4Q	07/1Q	2Q	3Q	07/6月	07/7月	07/8月	07/9月
GDP (yoy)	実質GDP	8.8	6.6	7.9	6.6	6.5	8.7	p 9.4				
	民間消費	5.6	3.1	2.5	2.7	2.5	5.8					
	総固定資本形成	10.2	0.1	11.5	17.1	17.5	26.0					
生産	鉱工業生産(yoy)	13.9	9.5	11.9	8.4	4.2	8.3		7.5	22.1	13.8	
消費	小売売上指数(yoy)	14.0	8.6	7.0	8.1	7.9	7.7		14.9	2.7	3.8	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	25.0	29.6	33.1	8.9	10.4	8.2	11.0	2.6	3.4	3.5	4.1
	輸出(yoy)	24.2	15.6	18.4	10.5	9.9	7.2	8.4	0.5	9.1	2.6	1.1
	輸入(yoy)	27.4	15.2	19.3	12.9	8.7	6.7	4.7	0.8	3.0	1.4	0.1
国際収支	経常収支(10億ドル)	21.5	28.6	36.3	15.3	16.6	18.2					
	外貨準備高(10億ドル)	113	116	136	136	138	144	152	144	147	148	152
雇用	失業率(季調値,%)	3.4	3.1	2.7	2.6	2.9	2.3					
物価	消費者物価(yoy)	1.7	0.5	1.0	0.6	0.5	1.0	2.7	1.3	2.6	2.9	2.7
金融	マネーサプライ(M2,%)	6.2	6.2	19.4	19.4	23.0	23.6		23.6	22.7	20.2	
	株価指数(ストリート)	2,066	2,347	2,986	2,986	3,231	3,548	3,706	3,548	3,548	3,393	3,706
	為替レート(S\$/S\$)	1.690	1.665	1.589	1.559	1.532	1.525	1.517	1.537	1.516	1.524	1.513
	為替レート(円/S\$)	64.0	66.2	73.2	75.5	77.9	79.2	77.6	79.9	80.1	76.6	76.1
	インターバンク金利(3M,%)	1.05	2.29	3.46	3.46	3.25	2.50	2.65	2.50	2.56	2.75	2.63

(出所) CEIC 他 (注) yoy = 前年比(%)

#### 4. ベトナム経済の概況

- ・ 内外需の堅調を背景に景気の拡大が続いている。1～9月期の実質 GDP 成長率はサービス業と製造業に牽引されて前年同期比 8.2%に加速した。ベトナム政府は成長テンポは 10～12 月期には一段と加速し、2007 年通年の成長率は 8.5%になるとの見通しを明らかにしている。
- ・ 1～9月期の輸出は縫製品、コーヒーを中心に前年同期比 19.5%増と堅調だったが、輸入も大規模インフラ建設のため機械類を中心に同 30.6%増と大幅な増加となったことから、1～9月期の貿易赤字は 76.36 億ドルに一段と拡大した。また 1～9月の小売売上も同 24.4%増と大幅増加が続いている。こうした内外需の好調を背景に生産も堅調に拡大している。1～9月期の鉱工業生産は同 14.5%増となった。
- ・ 一方、景気の拡大持続を背景にインフレ圧力が強まっている。輸入関税の引下げなどの政府のインフレ抑制策にもかかわらず、9月の消費者物価上昇率は前年同月比 8.8%と前月（同 8.6%）からさらに加速した。



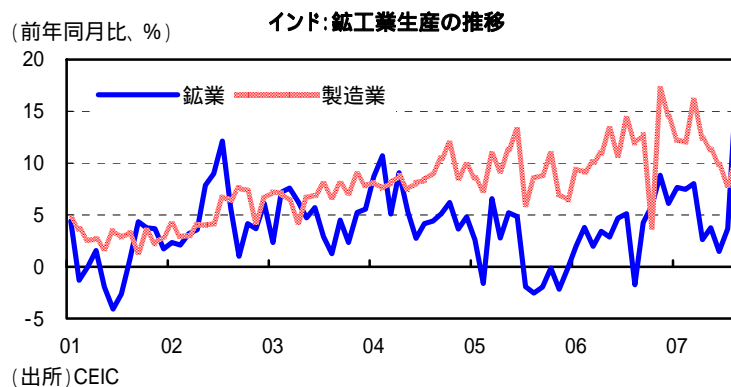
#### ベトナムの主要経済指標

		2004年	2005年	2006年	06/4Q	07/1Q	2Q	3Q	07/6月	07/7月	07/8月	07/9月
GDP (yoy)	実質 GDP	7.8	8.4	8.2	8.2	7.7	7.8	8.2				
	農業生産	4.4	4.0	3.4	3.4	2.3	2.8	3.1				
	鉱工業・建設生産	10.2	10.6	10.4	10.4	9.2	9.7	10.1				
生産	鉱工業生産(ytd,yoy)	17.3	16.7	18.3	18.7	10.8	12.2	14.8	13.8	14.4	15.5	14.5
消費ytd	小売売上(名目,yoy)	20.0	27.6	22.2	22.2	21.3	27.3	24.4	27.3	25.1	26.0	24.4
輸出入 ytd	貿易収支(100万ドル)	5520	4648	4805	4805	1711	4653	7636	4653	5614	6636	7636
	輸出(yoy)	30.8	24.0	22.9	22.9	18.6	19.7	19.5	19.7	19.6	19.3	19.5
	輸入(yoy)	26.1	17.0	20.4	20.4	39.0	31.3	30.6	31.3	31.3	30.9	30.6
国際収支	経常収支(100万ドル)	957	217									
	外貨準備高(100万ドル)	7,041	9,050	13,383	13,383							
物価	消費者物価(yoy)	7.7	8.3	7.4	6.7	6.6	7.4	8.6	7.8	8.4	8.6	8.8
金融	株価指数(VN index)	239	308	752	752	1,071	1,025	1,047	1,025	908	908	1,047
	為替レート(ドン/ドル)	15,714	15,827	15,967	16,051	16,016	16,053	16,149	16,084	16,100	16,172	16,176
	為替レート(円/100ドン)	0.70	0.71	0.74	0.75	0.76	0.76	0.74	0.77	0.77	0.73	0.72
	銀行間金利(翌日物)	n.a.	n.a.	n.a.	8.00	5.48	4.45	4.08	5.35	3.21	2.97	6.07

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%), GDP、生産、小売、貿易統計の四半期、月次はいずれも年初来累計ベース(ytd)。

## 5. インド経済の概況

- 内外需の堅調を背景に景気の拡大が続いている。8月の輸出はルピー高の影響で繊維製品や皮革製品などは不振であったものの、機械、貴金属・宝石などを中心に前年同月比 18.9%増となった。一方、輸入は景気拡大に加えてルピー高も促進材料となり機械類を中心に同 32.6%増と大幅に増加した。この結果、8月の貿易赤字は69億ドルに拡大した。鉱工業生産は8月前年同月比 10.7%増と前月（同 7.5%増）から大幅に加速した。これは石油や石炭などの鉱業部門の生産が前年の水準が低かった反動で大幅増（同 17.1%増）となった上、投資の活発化を反映して資本財の生産が同 30.0%増と大幅に拡大したためである。
- 9月の卸売物価指数は昨年来の金融引締め政策により前年同期比 3.3%に低下した。一方、資本規制導入懸念から株価が軟調に転じるなど、金融市場は足元やや不安定な状況となっている。



### インドの主要経済指標

		2004年	2005年	2006年	06/4Q	07/1Q	2Q	3Q	07/6月	07/7月	07/8月	07/9月
GDP (yoy)	実質GDP	7.2	8.7	9.6	8.7	9.1	9.3					
	農業生産	1.7	5.1	3.3	1.6	3.8	3.8					
	実質GDP (年度)	7.5	9.0	9.4								
	農業生産 (年度)	0.0	6.0	2.7								
生産	鉱工業生産(yoy)	8.5	7.9	10.5	11.2	12.5	10.3		9.0	7.5	10.7	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	21.8	43.9	54.4	18.1	10.7	20.6		7.3	5.0	6.9	
	輸出(yoy)	31.5	27.4	25.6	19.5	15.5	18.1		14.1	18.5	18.9	
	輸入(yoy)	36.7	44.0	25.0	35.3	12.6	34.3		36.7	20.4	32.6	
国際収支	経常収支(10億ドル)	0.8	7.8	9.4	2.8	2.6	4.7					
	外貨準備高(10億ドル)	125.2	131.0	170.2	170.2	191.9	206.1		206.1	219.8	221.5	
物価	卸売物価(yoy)	6.6	4.7	4.8	5.6	6.4	5.4	4.0	4.5	4.7	4.1	3.3
	消費者物価(yoy)	3.9	4.0	6.3	7.0	7.0	6.3		5.7	6.5	7.3	
金融	M3(M3,yoy)	12.8	17.8	19.2	19.2	21.3	21.7	21.1	21.7	21.7	20.7	21.1
	株価指数(BSE Sensitive)	6,603	9,398	13,787	13,787	13,072	14,651	17,291	14,651	15,551	15,319	17,291
	為替レート(ルピー/ドル)	45.2	44.1	45.3	44.7	44.0	40.9	40.4	40.8	40.4	41.0	39.7
	為替レート(円/ルピー)	2.39	2.50	2.57	2.64	2.71	2.95	2.92	3.01	3.0	2.8	2.9
	TB3ヶ月	4.70	5.43	6.40	6.80	7.67	7.38	6.25	7.39	4.46	7.10	7.19

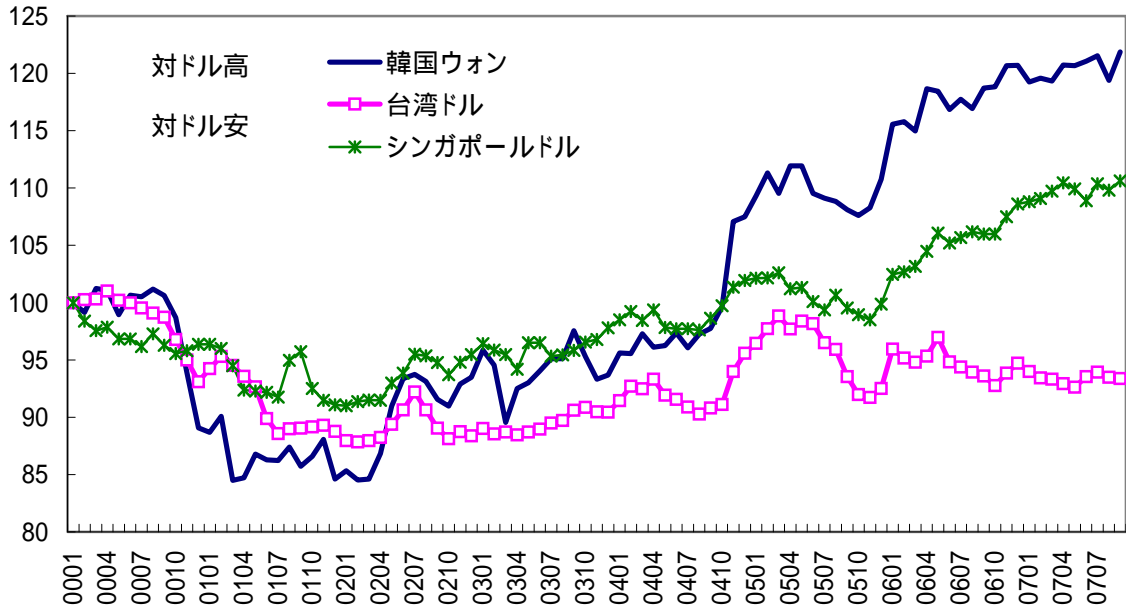
(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、年度は4月から翌年3月

アジア通貨・株価動向

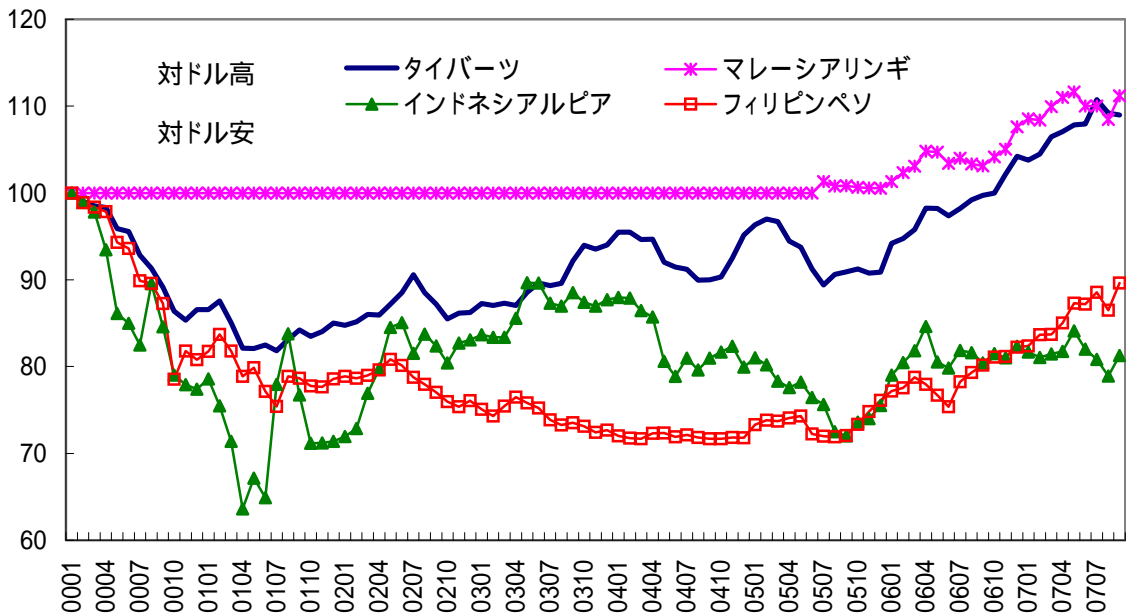
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)

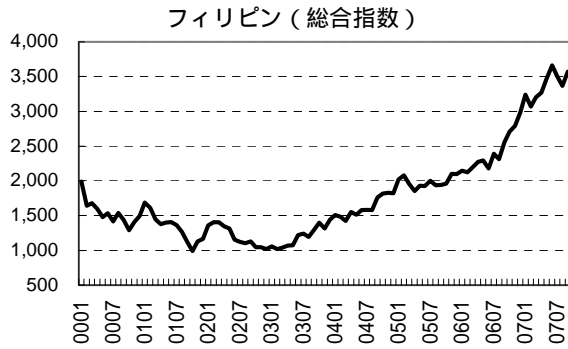
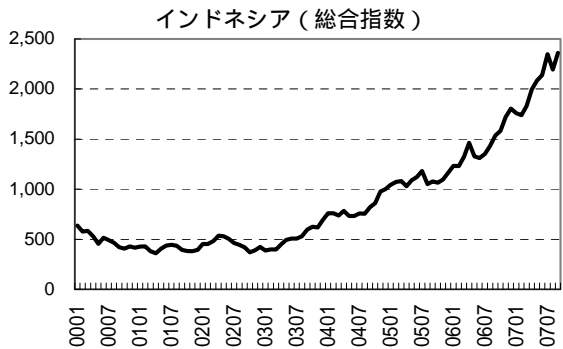
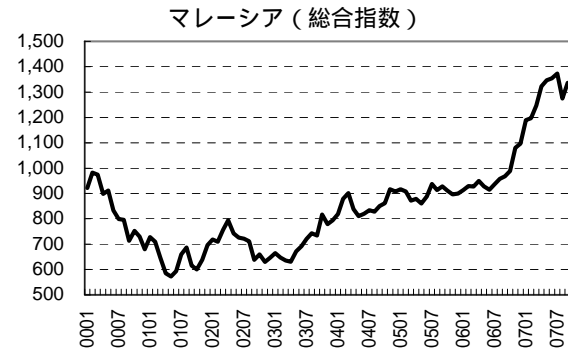
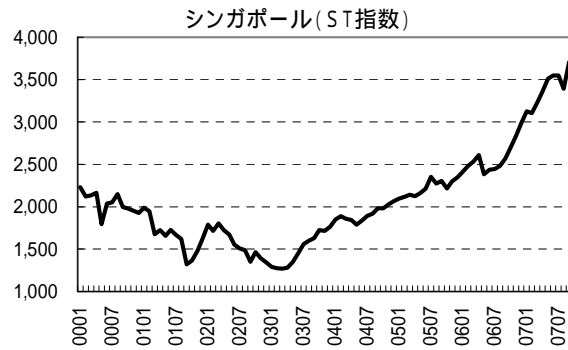
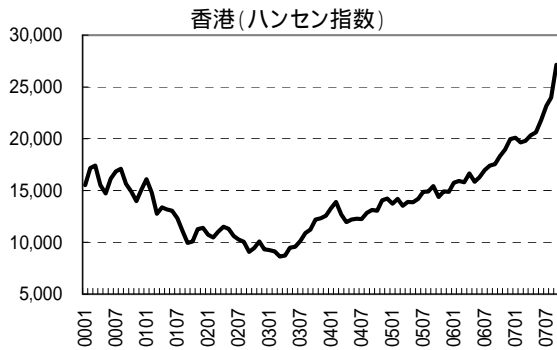
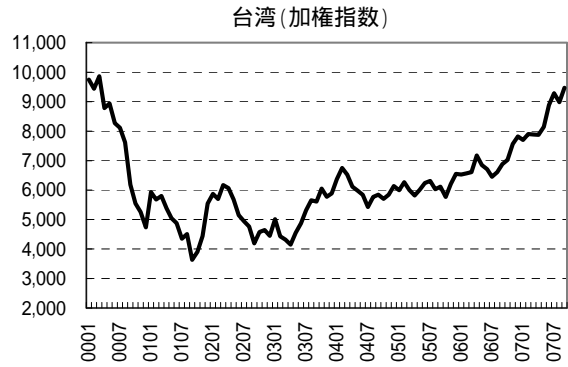
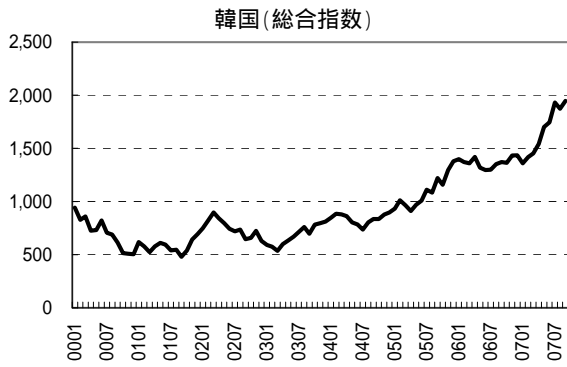


(2000年1月 = 100)



(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

本レポートに掲載された意見・予測等は資料作成時点の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。